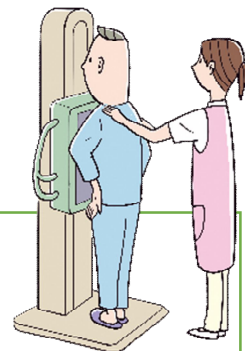


肺がん検診を

これから受ける方・受けた方へ

肺がん(気管支等を含む)は、がんによる死亡原因の1位となっています。
40歳以上の方は、毎年定期的に検診を受けることで、がんによる死亡リスクが減少します。
なお、65歳以上の方は肺がん検診に結核検診を含んでいます。



肺がん検診の流れ

胸部エックス線検査

40歳以上の方が対象です

胸部エックス線検査

胸のレントゲン撮影を行う検査です。

異常なし

異常あり

「異常あり」の場合、必ず精密検査を受けてください。

精密検査

胸部CT検査などを行い
より詳しく調べます

たばこと肺がんの関係

たばこを吸う人は吸わない人に比べ、
男性で約5倍、女性では約4倍、肺がん
で亡くなるリスクが高まります。

また、たばこは喫煙者本人のみならず
周囲の人の肺がんリスクを高めます。

異常なし

がん

年に1回定期検診

治療

長引く咳、声のかれ、息切れ、血痰などの自覚症状があれば、検診を待たずに、医療機関を受診しましょう。

※国立がん研究センターがん対策情報センター作成フローを松江市で編集

《ご確認ください》

- 低い確率ではありますが、検診にもデメリットがあります。
 - ・がんではないのに「要精密検査」と判定される場合(偽陽性)や、がんがあるのに見つけることができない場合(偽陰性)があります。
 - ・また、検査では見つけにくいがんもあります。
- 検診は松江市と各医療機関が連携して行い、精密検査結果は関係機関で共有されます。

